

ゆづあいピック熊本大会観戦記

汗と涙と声援と。 さわやかな笑顔が広がった！

去る十月十六・十七日。知的障害者の全国スポーツ大会「ゆづあいピック熊本大会」が水前寺競技場を中心に、熊本市内七カ所の会場で行われました。参加した選手・役員・ボランティア・観客は全部で約二万人。素晴らしいプレーにどの会場も大いに沸きました。今回は大会の様子を佐間野清香さんに、フットベースボールに出場する選手の様子を徳永喜美子さんに取材していただきました。また、ボランティアとして参加された浜田暁子さんには、その体験を語っていただきました。



大会会長、福島知事の開会挨拶



高円宮同妃両殿下も各競技場で観戦されました

●選手も観客も楽しんだ

午前八時四十分、さわやかな秋空の下、カラフルな爆竹とハトが飛び立つ中、開会式が始まりました。全国から集まった大勢の選手たちが手にそれぞれ自分の県や市を代表する花や特産物などを持って入場。全国大会ではありますが、予想していた以上に参加者が多いのに驚きました。大会は炬火点火、挨拶、高円宮殿下のお言葉の後、地元熊本県民による集団演技がありました。中でも高校、短大生、知的障害者、総勢四百人による創作ダンスは熊本の「火・水・緑」を

全体でダイナミックに表現していて、とても感動的でした。

二日目はあいにく小雨の中での競技となりましたが、選手の方々は勝ち負けにこだわらず、一所懸命に伸び伸び



「頑張ってる!!」観戦中の佐間野さん

と競技を行っていて、和やかなムードの中大会は進みました。閉会式も雨のため、市体育館で行われ、福島知事から来年度開催地の群馬県知事に大会旗が手渡され、最後にテーマ曲「ユア・ハンド、マイ・ハート」を選手、関係者四千人で大合唱し、閉会しました。今回初めてこのような大会を観戦したのですが、選手も観客も一緒になって楽しんでいる姿が印象的でした。皆さんの素晴らしい笑顔が本当に素敵でした。

(蘇陽町・佐間野清香)

●心を試されたボランティア体験

表彰台を降りてきて、その余韻でまだ弾んでいる心と体のA君に「おめでとう! ワーイ優勝? よかったね。凄いなあ」と言ったら手をギュッと握ると「うん、うん、嬉しい、よかった、毎日練習したから」。弾む息の下から嬉しそうな声が返ってきます。

表彰が終わった選手を退場門近くまで誘導するのが私の役割。私の心まで高ぶって、自分がメダルを取ったかのような気持ちです。でも、何度も行き来するうちに、私はいつの間にか心の中で「自分」と対峙していました。心が



「おめでとう!」選手たちを誘導する浜田さん

とても素直になれる。こんな気持ちは初めてでした。「良かったね」と言いながら、フツと彼が年長者であるのに気づいて「良かったですね」と言い換えたりもしました。障害者の皆さんを子供扱いしているような、そんな微かなおこりが自分の心の中になかったか?

ボランティア初体験の私には考えさせられることばかりでした。

大会準備の段階から実に多くの人が協力していました。何よりも嬉しかったのは高校生や大学生など若い人が積極的に協力している姿でした。大会の成功はボランティアの協力なくしてあり得なかったと思います。

後夜祭が開かれた農業公園では全国からの選手団の笑顔・笑顔が溢れていました。その賑わいの中を歩きながら、疲れきった足と裏腹に心の中にはさわやかな風が舞っていました。

(植木町・浜田暁子)

●好プレー続出、感激の優勝

フットベースボールの県代表チームは、荒尾の小袋作業所の他、三つの施設から集まった十九才から四十一才までの選手で編成。五月末にチームを結成してから、毎週日曜日に合同練習。各施設では選手が自主的に早朝練習をしてきたそうです。

大会前、練習を見学に行きました。選手たちの伸びやかなこと。どの顔も一所懸命です。試合を間近に控えた緊迫感はありません。監督の指示に元気の輪が返ります。休憩時間にも皆さんの輪に近づくと、スーツと自然に私を迎え入れてくれました。「練習はきついで楽しい」「終わったらパーベキューするぞ」。監督やコーチと選手たちみんなが仲間のようです。小袋作業所全体にゆったりとした空気が流れて、ゆ



合同練習の応援に駆けつけた徳永さん



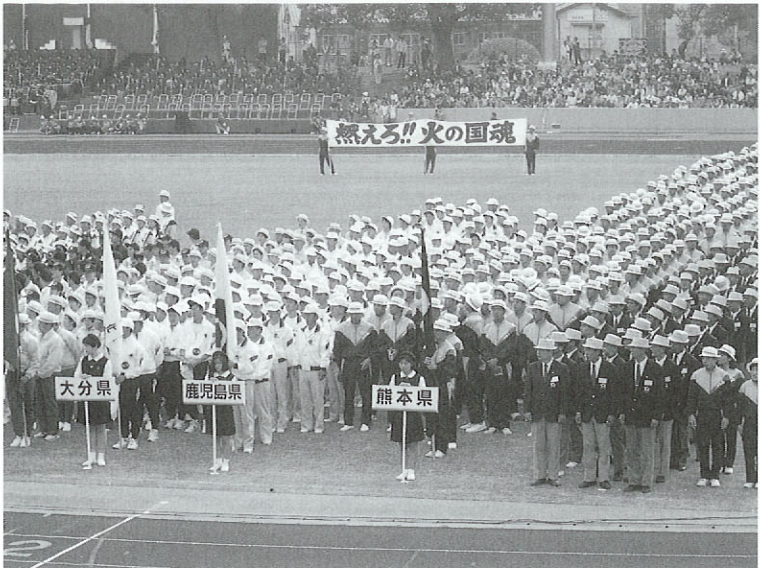
「アウト!!」守備もバッチリの熊本チーム

っくり大きく呼吸できるような気がしました。

第一試合は大分との対戦。みんな緊張しています。練習の時に見た伸び伸びしたプレーが出ず、ハラハラしました。が、攻撃で波をつかむとすべての歯車が噛み合い好プレーが続出。応援席が一体になって送る声援で、選手の顔がどんどん輝き出し表情も豊かになり、自信さえも感じられます。

そして優勝。仲間と喜び抱き合う姿は晴れ晴れとしてたくましく見えました。選手の表情が生き生きと変化していくのを見て、この経験がこれからの皆さんの力になっていくだろうと思いました。

(西今宮町・徳永喜美子)



全国都道府県政令指定都市から、59選手団、約4,000人が一堂に介しました